

資金収支計算書

令和4年 4月 1日から
令和5年 3月 31日まで

(単位 円)

収入の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
学生生徒等納付金収入	(154,570,000)	(154,702,099)	(△ 132,099)	
授業料収入	105,020,000	105,020,000	0	
入学金収入	7,650,000	7,650,000	0	
補習料収入	900,000	908,904	△ 8,904	
施設設備資金収入	17,700,000	17,700,000	0	
教材料収入	5,700,000	5,755,027	△ 55,027	
海外研修料収入	17,600,000	17,668,168	△ 68,168	
手数料収入	(1,693,000)	(1,702,930)	(△ 9,930)	
入学検定料収入	1,380,000	1,380,000	0	
証明手数料収入	73,000	73,900	△ 900	
その他の手数料収入	240,000	249,030	△ 9,030	
寄付金収入	(0)	(0)	(0)	
補助金収入	(2,836,908)	(2,836,908)	(0)	
国庫補助金収入	605,028	605,028	0	
県補助金収入	2,231,880	2,231,880	0	
資産売却収入	(0)	(0)	(0)	
付随事業・収益事業収入	(17,600,000)	(17,608,567)	(△ 8,567)	
補助活動収入	7,600,000	7,608,567	△ 8,567	
収益事業収入	10,000,000	10,000,000	0	
受取利息・配当金収入	(440)	(448)	(△ 8)	
その他の受取利息・配当金収入	440	448	△ 8	
雑収入	(11,462,000)	(11,424,157)	(37,843)	
施設設備利用料収入	4,150,000	4,153,377	△ 3,377	
退職金社団交付金収入	4,986,000	4,986,000	0	
行事費収入	2,300,000	2,258,000	42,000	
その他の雑収入	26,000	26,780	△ 780	
借入金等収入	(0)	(0)	(0)	
前受金収入	(123,150,000)	(123,324,500)	(△ 174,500)	
授業料前受金収入	91,500,000	91,574,500	△ 74,500	
入学金前受金収入	9,450,000	9,450,000	0	
施設設備資金前受金収入	16,200,000	16,200,000	0	
海外研修料前受金収入	6,000,000	6,100,000	△ 100,000	
その他の収入	(149,173,000)	(149,183,535)	(△ 10,535)	
前期末未収入金収入	193,000	193,099	△ 99	
預り金受入収入	17,410,000	17,416,713	△ 6,713	
立替金回収収入	221,000	221,676	△ 676	
仮払金回収収入	3,860,000	3,862,090	△ 2,090	
仮受金受入収入	3,052,000	3,052,086	△ 86	
預け金収入	94,437,000	94,437,871	△ 871	
附属事業立替金回収収入	30,000,000	30,000,000	0	
資金収入調整勘定	(△ 128,600,000)	(△ 128,600,028)	(28)	
期末未収入金	△ 1,085,000	△ 1,085,028	28	
前期末前受金	△ 127,515,000	△ 127,515,000	0	
前年度繰越支払資金	89,223,777	89,223,777		
収入の部合計	(421,109,125)	(421,406,893)	(△ 297,768)	

(単位 円)

支出の部			
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
人件費支出	(98,006,000)	(98,142,283)	(△ 136,283)
教員人件費支出	48,180,000	48,296,831	△ 116,831
職員人件費支出	44,840,000	44,859,452	△ 19,452
退職金支出	4,986,000	4,986,000	0
教育研究経費支出	(47,001,500)	(47,349,079)	(△ 347,579)
消耗品費支出	960,000	964,969	△ 4,969
光熱水費支出	6,000,000	6,066,067	△ 66,067
旅費交通費支出	4,500	4,724	△ 224
奨学費支出	4,500,000	4,562,680	△ 62,680
車輛燃料費支出	54,000	54,029	△ 29
福利厚生費支出	486,000	486,341	△ 341
通信費支出	860,000	863,388	△ 3,388
印刷製本費支出	3,400,000	3,411,287	△ 11,287
修繕費支出	87,000	87,230	△ 230
損害保険料支出	320,000	325,854	△ 5,854
行事費支出	2,700,000	2,719,973	△ 19,973
諸会費支出	180,000	182,765	△ 2,765
報酬・委託・手数料支出	6,250,000	6,256,641	△ 6,641
海外研修費支出	18,800,000	18,865,811	△ 65,811
機器賃借料支出	2,400,000	2,497,320	△ 97,320
管理経費支出	(37,879,000)	(39,172,385)	(△ 1,293,385)
消耗品費支出	780,000	787,078	△ 7,078
旅費交通費支出	850,000	857,512	△ 7,512
福利厚生費支出	480,000	484,665	△ 4,665
通信費支出	1,700,000	1,799,326	△ 99,326
出版物費支出	36,000	36,430	△ 430
研究費支出	9,000	9,900	△ 900
修繕費支出	1,600,000	1,666,350	△ 66,350
損害保険料支出	270,000	272,160	△ 2,160
公租公課支出	28,000	28,624	△ 624
広報費支出	26,000,000	26,914,190	△ 914,190
諸会費支出	700,000	702,545	△ 2,545
会議費支出	20,000	28,012	△ 8,012
交際費支出	90,000	92,039	△ 2,039
報酬・委託・手数料支出	2,400,000	2,419,344	△ 19,344
機器賃借料支出	16,000	16,060	△ 60
補助活動仕入支出	2,400,000	2,475,321	△ 75,321
雑費支出	500,000	582,829	△ 82,829
借入金等利息支出	(156,000)	(156,398)	(△ 398)
借入金利息支出	156,000	156,398	△ 398
借入金等返済支出	(2,360,000)	(2,360,000)	(0)
借入金返済支出	2,360,000	2,360,000	0
施設関係支出	(2,060,000)	(2,060,000)	(0)
構築物支出	2,060,000	2,060,000	0
設備関係支出	(0)	(0)	(0)
資産運用支出	(0)	(0)	(0)
その他の支出	(193,786,000)	(194,412,147)	(△ 626,147)
前期末未払金支払支出	9,200,000	9,207,872	△ 7,872
預り金支払支出	17,500,000	17,542,246	△ 42,246
前払金支払支出	6,000	6,280	△ 280
立替金支払支出	220,000	221,676	△ 1,676

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
仮払金支払支出	3,860,000	3,862,090	△ 2,090
仮受金支払支出	3,000,000	3,082,086	△ 82,086
預 け 金 支 出	100,000,000	100,000,000	0
附属事業立替金支払支出	60,000,000	60,489,897	△ 489,897
資金支出調整勘定	(△ 8,906,000)	(△ 8,928,585)	(22,585)
期 末 未 払 金	△ 8,900,000	△ 8,922,305	22,305
前 期 末 前 払 金	△ 6,000	△ 6,280	280
翌年度繰越支払資金	48,766,625	46,683,186	2,083,439
支出の部 合 計	(421,109,125)	(421,406,893)	(△ 297,768)

事業活動収支計算書

令和4年 4月 1日から

令和5年 3月31日まで

(単位 円)

	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	(154,570,000)	(154,702,099)	(△) 132,099
	授 業 料	105,020,000	105,020,000	0
	入 学 金	7,650,000	7,650,000	0
	補 習 料	900,000	908,904	△ 8,904
	施設設備資金	17,700,000	17,700,000	0
	教 材 料	5,700,000	5,755,027	△ 55,027
	海 外 研 修 料	17,600,000	17,668,168	△ 68,168
	手数料	(2,193,000)	(1,702,930)	(△) 490,070
	入 学 検 定 料	1,380,000	1,380,000	0
	試 験 料	73,000	0	73,000
	証 明 手 数 料	240,000	73,900	166,100
	その他の手数料	500,000	249,030	250,970
	寄付金	(0)	(0)	(△) 0
	経常費等補助金	(2,835,000)	(2,836,908)	(△) 1,908
	国庫補助金	605,000	605,028	△ 28
	県補助金	2,230,000	2,231,880	△ 1,880
	付随事業収入	(7,600,000)	(7,608,567)	(△) 8,567
	補助活動収入	7,600,000	7,608,567	△ 8,567
	雑収入	(11,462,000)	(11,424,157)	(△) 37,843
	施設設備利用料	4,150,000	4,153,377	△ 3,377
	退職金社団交付金収入	4,986,000	4,986,000	0
	行 事 費 収 入	2,300,000	2,258,000	42,000
	その他の雑収入	26,000	26,780	△ 780
	教育活動収入計	(178,660,000)	(178,274,661)	(△) 385,339
	事業活動支出の部	科 目	予 算 額	決 算 額
人件費		(98,006,000)	(98,142,283)	(△) 136,283
教員人件費		48,180,000	48,296,831	△ 116,831
職員人件費		44,840,000	44,859,452	△ 19,452
退職金		4,986,000	4,986,000	0
教育研究経費		(63,801,500)	(64,212,060)	(△) 410,560
消耗品費		960,000	964,969	△ 4,969
光熱水費		6,000,000	6,066,067	△ 66,067
旅費交通費		4,500	4,724	△ 224
奨学費		4,500,000	4,562,680	△ 62,680
車輛燃料費		54,000	54,029	△ 29
福利厚生費		486,000	486,341	△ 341
通信費		860,000	863,388	△ 3,388
印刷製本費		3,400,000	3,410,207	△ 10,207
修繕費		87,000	87,230	△ 230
損害保険料		320,000	325,854	△ 5,854
行事費		2,700,000	2,719,973	△ 19,973
諸会費		180,000	182,765	△ 2,765
報酬・委託・手数料		6,250,000	6,256,641	△ 6,641
海外研修費		18,800,000	18,865,811	△ 65,811
機器賃借料		2,400,000	2,497,320	△ 97,320
減価償却額		16,800,000	16,864,061	△ 64,061
管理経費		(37,979,000)	(39,465,137)	(△) 1,486,137
消耗品費		780,000	787,078	△ 7,078
旅費交通費		850,000	857,512	△ 7,512
福利厚生費		480,000	484,665	△ 4,665
通信費		1,700,000	1,799,326	△ 99,326
出版物費		36,000	36,430	△ 430
研究費		9,000	9,900	△ 900
修繕費		1,600,000	1,666,350	△ 66,350
損害保険料		270,000	272,160	△ 2,160
公租公課		28,000	28,624	△ 624
広報費	26,000,000	26,914,190	△ 914,190	
諸会費	700,000	702,545	△ 2,545	
会議費	20,000	28,012	△ 8,012	
交際費	90,000	92,039	△ 2,039	

(単位 円)

		科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
教育活動収支	事業活動支出の部	報酬・委託・手数料	2,400,000	2,419,344	△ 19,344
		機器賃借料	16,000	16,060	△ 60
		補助活動収入原価	2,200,000	2,475,321	△ 275,321
		減価償却額	300,000	292,752	7,248
		雑費	500,000	582,829	△ 82,829
		徴収不能額等	(0)	(0)	(0)
		教育活動支出計	(199,786,500)	(201,819,480)	(△ 2,032,980)
教育活動収支差額		(△ 21,126,500)	(△ 23,544,819)	(2,418,319)	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
		受取利息・配当金	(440)	(448)	(△ 8)
		その他の受取利息・配当金	440	448	△ 8
		その他の教育活動外収入	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
		収益 事業収入	10,000,000	10,000,000	0
	教育活動外収入計	(10,000,440)	(10,000,448)	(△ 8)	
	事業活動支出の部	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
		借入金等利息	(156,000)	(156,398)	(△ 398)
		借入金利息	156,000	156,398	△ 398
		その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)
教育活動外支出計		(156,000)	(156,398)	(△ 398)	
教育活動外収支差額		(9,844,440)	(9,844,050)	(390)	
経常収支差額		(△ 11,282,060)	(△ 13,700,769)	(2,418,709)	
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
		資産売却差額	(0)	(0)	(0)
		その他の特別収入	(0)	(0)	(0)
		特別収入計	(0)	(0)	(0)
	事業活動支出の部	科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
		資産処分差額	(0)	(31,305)	(△ 31,305)
		図書廃棄差額	0	31,305	△ 31,305
		その他の特別支出	(0)	(0)	(0)
		特別支出計	(0)	(31,305)	(△ 31,305)
特別収支差額		(0)	(△ 31,305)	(31,305)	
〔予 備 費〕		(0)		(0)	
基本金組入前当年度収支差額		(△ 11,282,060)	(△ 13,732,074)	(2,450,014)	
基本金組入額合計		(0)	(△ 6,388,695)	(6,388,695)	
当年度収支差額		(△ 11,282,060)	(△ 20,120,769)	(8,838,709)	
前年度繰越収支差額		(△ 94,883,634)	(△ 94,883,634)	(0)	
基本金取崩額		(0)	(0)	(0)	
翌年度繰越収支差額		(△ 106,165,694)	(△ 115,004,403)	(8,838,709)	
(参考)					
事業活動収入計		(188,660,440)	(188,275,109)	(385,331)	
事業活動支出計		(199,942,500)	(202,007,183)	(△ 2,064,683)	

貸借対照表

令和5年 3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	(557,711,000)	(572,839,118)	(△ 15,128,118)
有形固定資産	(555,650,436)	(570,778,554)	(△ 15,128,118)
土地	201,553,168	201,553,168	0
建物	336,015,215	351,439,739	△ 15,424,524
構築物	1,977,954	90,032	1,887,922
教育研究用機器備品	11,301,600	12,569,059	△ 1,267,459
管理用機器備品	3,366,702	3,659,454	△ 292,752
図書	1,435,797	1,467,102	△ 31,305
特定資産	(0)	(0)	(0)
その他の固定資産	(2,060,564)	(2,060,564)	(0)
電話加入権	875,784	875,784	0
収益事業元入金	1,184,780	1,184,780	0
流動資産	(212,118,222)	(217,713,778)	(△ 5,595,556)
現金預金	46,683,186	89,223,777	△ 42,540,591
未収入金	1,085,028	193,099	891,929
貯蔵品	231,730	231,730	0
販売用品	82,340	81,260	1,080
前払金	6,280	6,280	0
仮払金	125,000	125,000	0
預け金	8,489,422	2,927,293	5,562,129
附属事業立替金	155,415,236	124,925,339	30,489,897
資産の部合計	(769,829,222)	(790,552,896)	(△ 20,723,674)
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	(36,225,000)	(40,876,000)	(△ 4,651,000)
長期借入金	35,520,000	40,100,000	△ 4,580,000
長期預り金	705,000	776,000	△ 71,000
流動負債	(134,786,328)	(137,126,928)	(△ 2,340,600)
短期借入金	2,220,000	0	2,220,000
未払金	8,922,305	9,207,872	△ 285,567
前受金	123,324,500	127,515,000	△ 4,190,500
預り金	319,523	374,056	△ 54,533
仮受金	0	30,000	△ 30,000
負債の部合計	(171,011,328)	(178,002,928)	(△ 6,991,600)
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	(713,822,297)	(707,433,602)	(6,388,695)
第1号基本金	697,822,297	693,433,602	4,388,695
第4号基本金	16,000,000	14,000,000	2,000,000
繰越収支差額	(△ 115,004,403)	(△ 94,883,634)	(△ 20,120,769)
翌年度繰越収支差額	△ 115,004,403	△ 94,883,634	△ 20,120,769
純資産の部合計	(598,817,894)	(612,549,968)	(△ 13,732,074)
負債及び純資産の部合計	(769,829,222)	(790,552,896)	(△ 20,723,674)

財産目録

1. 資産総額	金	769,829,222 円
1. 基本財産	金	557,711,000 円
2. 運用財産	金	212,118,222 円
2. 負債総額	金	171,011,328 円
1. 固定負債	金	36,225,000 円
2. 流動負債	金	134,786,328 円
3. 純資産	金	567,046,495 円

内訳

1. 基本財産

(イ) 土地	10,164.2㎡	201,553,168 円
(ロ) 建物	2285.29㎡	336,015,215 円
(ハ) 構築物	9点	1,977,954 円
(ニ) 教育研究用機器備品	470点	11,301,600 円
(ホ) その他機器備品	1点	3,366,702 円
(ヘ) 図書	773冊	1,435,797 円
(ト) 電話加入権	12回線	875,784 円
(チ) 施設利用権	1件	0 円
(リ) 収益事業元入金		1,184,780 円
(ヌ) 敷金		0 円
計		557,711,000 円

2. 運用財産

(イ) 現金	59,854 円
(ロ) 預金	46,623,332 円
(ハ) 貯蔵品	231,730 円
(ニ) 未収入金	1,085,028 円
(ホ) 販売用品	82,340 円
(ヘ) 前払金	6,280 円
(ト) 仮払金	125,000 円
(チ) 預け金	8,489,422 円
(リ) 立替金	155,415,236 円
計	212,118,222 円

3. 固定負債

(イ) 長期借入金	35,520,000 円
(ロ) 長期預り金	705,000 円
計	36,225,000 円

4. 流動負債

(イ) 短期借入金	2,220,000 円
(ロ) 未払金	8,922,305 円
(ハ) 前受金	123,324,500 円
(ニ) 預り金	319,523 円
(ホ) 仮受金	0 円
計	134,786,328 円

上記は令和5年3月31日現在における当法人の財産目録である。

令和 5年 3月 31日

成田市公津の杜2丁目28番地4
学校法人翔陽学園
理事長 山田 日出夫

2022年度学校法人翔陽学園事業報告(案)

2023年5月29日

1. 学校法人の概要

- (1) 設置する学科の定員・現員(2023年6月1日現在)
エアライン・ビジネス科(2年制) 定員200名、現員118名(昨年対比±0、1年65名、2年53名)
- (2) 組織 別表
- (3) 教職員 専任教職員23名、非常勤教職員36名 合計59名

2. 2022年度事業計画及び報告

	2022年度事業計画	2022年度事業報告
学校法人	引き続き就職指導と学生募集に注力すると共に、コロナとの共生環境における持続可能性を高めるために、体制強化および教育品質の向上によって選ばれる専門学校・English House・FL 教習センターを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染状況の落ち着きに伴う航空・観光業界の採用再開の動きは力強く、就職内定率は100%へと戻った。 ・コロナ禍による航空・観光業界の不振の高校生の進路選択への影響は未だ残り、新入生は増加したが64名に留まった。 ・EHの会員の漸減減少に歯止めがかかっておらず、今後も様々な施策を講じていく。
広報・学生募集	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、きめ細かく定期的に高校を訪問することで、高校の先生との信頼関係をより強固にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校ごとに訪問担当者を固定し、定期的に訪問することで、高校の先生との信頼関係をより強固にできた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・HPをはじめ、Twitter、InstagramなどSNSを有効活用し、高校生向けに身近な話題を提供することで、学校の魅力をアピールする。加えて新たに「LINE」の公式アカウントも作成し、高校生との接触機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Instagramを中心としたSNSを有効活用し、高校生向けに身近な話題を多く提供、学校の魅力をアピールできた。また、新たに「LINE」の公式アカウントを作成し、高校生に積極的に「お友達登録」してもらうことで、気軽に問い合わせできるようになった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・来校促進に力を入れるとともに、オンラインも活用して来校が困難な高校生にもきめ細かく対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来校促進に力を入れた結果、前年度よりも来校数は増加したが、オンライン参加者は減少した。
教務	<ul style="list-style-type: none"> ・新教育支援 ICT(Info Clipper)の円滑な導入～周辺業務(授業出欠データ処理、各種書類発行、校内、保護者宛連絡等)の流れの確立と円滑化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・info Clipperへの移行は大きな混乱なく、円滑に完了した。出欠データ処理、各種証明書発行、校内連絡(学生・職員向け)等の周辺業務については新システムをベースにした業務の流れが概ね固まった。今後は成績データのまとめと保護者向け連絡事項伝達を中心に新システムの活用を拡げていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・Googleサービスの活用を研究する～Gmail、Googleドライブに加え、授業で活用できるサービスを研究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教務部としては、GmailとGoogle Drive以外のサービスで新たに導入すべきものは見つからなかったがGoogle Classroomについては引き続き注目して研究を続けていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・就活関連授業を見直すことで、就職試験における書類選考および面接選考対策を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染状況の落ち着きに伴い、同時期に集中して募集がかかり、特に面接試験対応では臨時対応に追われた。エントリーシート作成や筆記試験対策等についても、マイナビ模試の活用や夏期講習の実施により更なる強化を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・担任間および部署間連携(教務・就職指導)を強化することで学生指導を充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なミーティングが実施されず、十分な連携がとれたとは言えない。次年度は時期を設定して、情報交換の頻度を高めていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の質の維持と向上を図るべく授業モニターを継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に約2週間にわたり、授業モニターを実施した。但し全ての授業に対して実施できず、実施分についてもフィードバックが不十分など次年度へ向けての反省材料となった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の成績評価の見直し(評価の時期、コロナ等で連続して受験できない場合の対応等)を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度は2年生の前期中間試験を実施、期末試験については1,2年生の時期をずらして実施した。コロナ感染で受験できない場合は、インフルエンザの場合と同様、追試受験で対応した。今後も当面は同様の対応とする。 ・評価時期は、カリキュラムの見直しを伴うもの(通年科目を前後期科目に分ける等)となり、引き続き検討する。
就職指導	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響により航空・ホテル業界の新卒募集が流動的であることから、状況を注視しスピード感を持って対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年春頃からの経済の復調に伴い、採用を再開した企業が増え、66名が、航空・観光業界に就職した。 ・早期就業に出た学生の内4名が体調不良等により在学中に退職した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・業種・職種を広げて企業の新規開拓を図ると同時に、きめ細やかに企業訪問し情報共有を図ることで既存企業との連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問に加えて、年間を通してメールや電話で頻繁に企業と連絡を取り情報共有を行った。 ・募集時期が集中し12月1日に20社以上の校内会社説明会と数社の空港見学を実施した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・個々人の能力・適性に応じた面談、進路相談等の支援を行い、自発的に就職活動を行うよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エントリーシート添削や面接指導の中で、個々人の長所や能力を引き出すことに努めた結果、多くの学生に成長が見られた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・内定学生は英語能力向上、資格取得等の明確な目標を設定・実行させることで社会人としての責任感を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期は各自に「PDCA 目標計画表」を作成させ、毎月目標達成度を確認した。後期は多くの学生(43/67)が早期就業に出た為、2年生3クラス合同授業や個別指導でモチベーションを保つ工夫をしたが、達成度には個人差があった。
収益事業 (イングリッシュハウス)	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域で人気の英語学校」を目指し、教育内容の充実と会員のCS向上を図り会員数の拡大を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仏語・中国語、韓国語など他言語クラスの実施を続けるだけでなく、既存の会員減少を抑えるべく、教職員全員が緊張感を持ち、レッスンや対応に臨んでいく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン希望者にも、迅速かつ丁寧に対応。対面と同じ質の授業を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当日のオンライン希望者にも迅速に対応し、教員も臨機応変に対応できるようになった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・HPを積極的に活用し、更新頻度を上げ注目度アップをはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPのトップページで最新情報やクラスのスケジュールをタイムリーに更新。(月1・2回)HPからの問い合わせも増加した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学高学年対象の国語・算数クラス(セイトクラス)の定着と充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年別に、国語2クラスで6名、算数1クラスで2名の参加で開講した。
収益事業 (FL教習センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・H/Pの充実など、認知度やイメージアップを図ることで選好性の向上に努め、新規顧客の開拓を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知度アップの為の営業活動や口コミにより、得意先や新規顧客からのFL教習受講申込みが増加した。特に、外国人のFL教習申込みの増加が顕著であった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・安定運用と経費の効率化を追求しつつ、ムリハリをつけて設備・備品を購入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機材等の経費を見直しつつ、FL教習受講者の増加に対応出来るよう、教室棟のレイアウトの見直しを実施した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・講習の品質向上に努め、「安全講習」や「安全フォローアップ講習」等の新規講習の開設を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に品質向上を考えた講習を行いながら、顧客からの問い合わせやニーズを考慮し新規講習の安全講習を開設し、顧客企業向け安全講習を実施した。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と収益事業の経営安定と品質向上を図り、経費効率を意識して不要不急の支出を抑制する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務用品、什器等の価格を精査し、発注に際しては相見積もりをかけるなど経費削減に努めた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・学内、学外の関係部署との連携を強化し、学校事業全体のサービス向上に貢献する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金や授業料等に関して情報共有を行い、関係部署との連携を強化してサービス向上へ務めた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自己点検および学校評価制度における評価向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価委員会を開催し、評価向上に努めた。

以上

監査報告書

学校法人翔陽学園


理事長 山田 日出夫殿

令和 5 年 5 月 26 日

千葉県成田市公津の杜2丁目28番地4

学校法人翔陽学園

監 事 花 木 博 章 

監 事 森 田 充 俊 

私たちは、学校法人翔陽学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）における財産の状況（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表並びに財産目録）及び学校法人の業務又は理事の業務執行の状況について監査を行いました。

監査の結果、私たちは上記の計算書類は学校法人会計基準（文部省令第18号）に準拠しており、学校法人翔陽学園の令和5年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する会計年度の経営状況を適正に表示しており、学校法人の業務及び財産に関する不正の行為又は法令もしくは寄付行為に違反する重大な事実のないことを確認いたしました。

学校法人翔陽学園 役員(理事・監事)

2023年4月1日

役職名	氏 名	選任区分		任 期		備 考 (就任時の役職等)
		私立学校法 第38条1項	寄附行為 第7条1項	始 期	終 期	
理 事	山村 毅	1号	1号	2022/4/1	校長在任中	成田航空ビジネス専門学校 学校長
理 事	出口 公正	2号	2号	2022/4/1	2025/3/31	成田航空ビジネス専門学校 参事
理 事	森田 誠一	2号	2号	2022/4/1	2025/3/31	成田航空ビジネス専門学校 副校長(兼)教務部長
理 事	岡本 清章	3号	3号	2023/4/1	2025/3/31	鴻池運輸株式会社 執行役員空港本部本部長
理 事	青戸 一登	3号	3号	2022/4/1	2025/3/31	日本空港サービス㈱ 代表取締役
理 事	山田 日出夫	3号	3号	2023/4/1	2025/3/31	空港ターミナルサービス㈱ 代表取締役
理 事	品地 敏明	3号	3号	2022/4/1	2025/3/31	成田市立玉造中学校元校長 成田航空ビジネス専門学校教育顧問
監 事	花木 博章			2022/4/1	2025/3/31	鴻池エアホールディング㈱ ???
監 事	森田 充俊			2022/4/1	2025/3/31	日本空港サービス㈱ 総務企画部長